

保土ヶ谷区自立支援協議会 区精神 net 全体会 議事録

日時	R7年2月10日(月) 15:45~17:30
開催場所	保土ヶ谷区役所 5階 501・502 会議室
出席者	<p><参加者(敬称略)> 全体進行: 港北病院、生活支援センター</p> <p>常盤台病院、銀河、わおん、光の丘相談室、たちばな会、エンラボ、ウェルビー、リビットはうす横浜、いろどり、SSJ、中部就労支援センター、ポート葦、今井地域ケアプラザ、サポートセンターオリーブ、基幹、区、生活支援センター</p>
開催形態	公開(傍聴人: 名)・非公開
議題	<p>【内容】</p> <p>1. 情報共有 初参加:ウェルビー桜木町、サポートセンターオリーブ</p> <p>わおん障がい者グループホーム→リビットはうす横浜に社名変更</p> <p>2. 区精神 net 分科会 ほどほどの会、アウトリーチ支援チーム員会議より</p> <p>①ほどほどの会:地域移行の推進、医療保険福祉の連携強化、普及啓発等に取り組んでいる。次年度は、主に以下の3点に取り組んでいく。 ・病院内でのケース検討を通して、退院・地域定着に繋げていく ・出張あかね工房などの機会を年間計画課し、協働活等についてアンケートを実施する ・ほどほどの会の啓発を行うため、普及チラシを作成する</p> <p>②アウトリーチ支援チーム員会議:地域で暮らしていて自ら相談に来られない方、メンタルヘルスの課題があるが未治療の方を主対象として支援を行っている。全体会の前(第2火曜日 13:30~15:15)に会議を開催。会議では各ケースの進捗状況の確認や、新規受入検討等を行っている。</p>

3. グループワーク「保土ヶ谷区の地域課題だと思うことは？」

保土ヶ谷区の地域の課題だと思うこと?(一部抜粋)

【保土ヶ谷区の立地】

- ・交通機関が少なくなっている
- ・立地によって、交通の便に格差がある。併せて情報の格差もある。場所によっては事業所が少ない。

【学校教育】

- ・学校や病院の特徴などが分かっていない
- ・卒業後のフォロー、ご家族のフォローも必要
- ・グレーゾーンの方(支援学校でもない方)について、支援やつながりが切れやすい

【他分野との連携】

- ・高齢、障害分野の相互理解が必要(障害から介護保険に移行する中で、これまでのサービスが使えず
- ひきこもり状態となったケースがある)
- ・精神や他の多様な方々が“サラ”で知っていることを交換できる機会や場があると良い

【支援の繋ぎ方】

- ・通所につながらない人への掘り起こしについて
- ・会社がチラシを配ると、チラシをみて来られる方がいる。その中には、ひきこもり状態が長い方がおり
- 「仕事をしたい」という思いが強いこともある。
- 「仕事をしたい」思いで来所した人に対する生活面のサポートへの繋ぎ方は?

【医療面】

- ・発達障害の専門機関(医療機関)が少ない
- ・入院中に利用できるサービスが少なすぎる
- 日中活動の事業所や個別の関わりについては相乗りできるとよい
- ・グループホームに入居していると、グループホームから一時的に離れたいとなると入院しかない
- 入院以外の方法で離れる場所、泊まれる場所があると良い

【家族支援】

- ・通所されている利用者宅へ訪問した際に、ひきこもりのご家族がいた。
- 情報提供ができると良い。
- ・相談者だけでなく、ご家族が疾患を抱えているケースがある
- 家族支援(年歴、国籍問わず)、早めに受診することが大切
- ・親が健在(経済的、体力がある)で抱えているケースが多い(8050、9060問題)

【その他】

- ・サービスに繋がらない人、切れてしまう人がいる
- ・「予防」の視点、「心の健康」の大切さを子どもから高齢者まで
- ・いきなり通所はハードルが高いので、軽く外に出る場があると良い

4. 次回全体会についてアナウンス

次回

3月11日(火)15:45~17:30 場所:保土ヶ谷区役所5階501・502会議室